## CAD製図専門学校工業専門課程 CADデザイン科 2025年度(令和7年度) シラバス

学校法人 古藤学園 CAD製図専門学校

区分	授業	科目				年次.	別単位 年	数・時 3	間数年		<b>計</b> 時間数
	外国	돮	T	. ,—,,,		平匹奴	时间数	平山奴	时间数		160
4.00		語	Π	0	100	8	160				160
							100	12	240		240
十二	社会		般	4	80					4	80
	進路指導	・マナ	Ţ					8	160	8	160
			I	4	80					4	80
			$\Pi$			4	80			4	80
		· -	$\coprod$					8	160		160
			I	8	160						160
演習						8	160				160
			Щ		100			4	80		80
, , , ,			1	- 8	160	0	1.00				160
				0	1.00	- 8	160				160
				8	160	10	240				160
						14	240	0	160		240 160
	0 11 2	供 自		40	800	40	800				2400
	·	分     外     小 </td <td>分AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAABB<t< td=""><td><ul> <li>会</li> <li>会</li> <li>が</li> <li>国</li> <li>基</li> <li>基<td>授業科目</td><td>分       授業科目         一般       外 国語 II 8 160         中別       外 国語 III 9         中別       日本 日</td><td>  接 業 科 目</td><td>大     年次別単位       分     国</td><td>  接 業 科 目</td><td>  投業科目</td><td>  接 業 科 目</td></li></ul></td></t<></td>	分AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAABB <t< td=""><td><ul> <li>会</li> <li>会</li> <li>が</li> <li>国</li> <li>基</li> <li>基<td>授業科目</td><td>分       授業科目         一般       外 国語 II 8 160         中別       外 国語 III 9         中別       日本 日</td><td>  接 業 科 目</td><td>大     年次別単位       分     国</td><td>  接 業 科 目</td><td>  投業科目</td><td>  接 業 科 目</td></li></ul></td></t<>	<ul> <li>会</li> <li>会</li> <li>が</li> <li>国</li> <li>基</li> <li>基<td>授業科目</td><td>分       授業科目         一般       外 国語 II 8 160         中別       外 国語 III 9         中別       日本 日</td><td>  接 業 科 目</td><td>大     年次別単位       分     国</td><td>  接 業 科 目</td><td>  投業科目</td><td>  接 業 科 目</td></li></ul>	授業科目	分       授業科目         一般       外 国語 II 8 160         中別       外 国語 III 9         中別       日本 日	接 業 科 目	大     年次別単位       分     国	接 業 科 目	投業科目	接 業 科 目

科目		外国語 I	必修	履修学年	1	単位数	8	時間数	160
目標	日常的な場面でできる。	で使われる日本語の理解に加え、より	幅刀	ない場面で使われる ない場面で使われる	る日本語を	をある	る程度理	解す	ることが
		内		容					
Π	ガイダンス テキスト前期 文法形式の判断 ことがらの説明 主観を含めた説明	1. 授業の方 2. テキ・へ直後に 2. ~ときいる(進行中) 3. ~をしてで始まりと終わり・ 4. 範囲のけけではないではないではないではないではないではないではないではないでである。 5. ~加へにてをにていているとにている。 8. ~してもにているとにているとにてもにているとにでいる。 10. ~にくないはないではないではないではないではない。 11. 強しないにはないではないではない。 12. 強はない		文法形式の判断主観を含めた説明主観を述べる	も 4. ~だ 5. ~で 6. ~見	れそ かきてでは言ろをす ・・どう らな評評どうう言る 表言	<ul><li>た ない なべい できる できる できる できる できる できる できる できる できる できる</li></ul>	だととうで表を必ずです。	~の る
		譯平		価					
	定期試験及び平常	<b>考点、出席率を加味して総合評価する</b>	10						
		教		材					
	「新完全マスター	-文法 日本語能力試験N2」(スリー	-エ-	-ネットワーク)					
			1	!	涇浬 由:	<del>*</del>	延 加加	<del>/1</del> ±	:尼 夕霏

担当講師

深澤 由香 張 姍 花城 可武 佐久 會田 夏希

張 姗姗妹尾 冬雲佐久間 宏道

科目		外国語Ⅱ	必修	履修学年	2	単位数	8	時間数	160			
目標	幅広い場面で使われる日本語を理解することができる。 内 容											
		内		容								
П	ガイダンス テキスト前期 文法形式の判断 ことがを含めた説明 文の組み立て 前後期共通	1. 授業の方 2. テキング (1. 受事の) (2. です) (2. です) (3. です) (4.		テキスト後期文章の文法	5. 「 視~分視受分視~ 6. 7. 「 7. 「	文 ををのをく を・ をあく表分・表・表重使動る 動使 動けれ現けが現線	すかいか・ か役 かるる! うしり 文さ方さ~ さ・ さ・」こ の 返な なくの・ 使 し	い手 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	毀-1 毀-2 の -3 使 -4 ・ の ナ			
			*	JLPT	N2合格レ	ベル	達成					
		評		価					-			
	定期試験及び平常	京点、出席率を加味して総合評価する	0									
		教		材	_							
	「新完全マスター	-文法 日本語能力試験N2」(スリー	·エ-	ーネットワーク)								
				担当講師	深澤 目 細井 夕		斉藤 後藤					

科目		外国語Ⅲ	必修	履修学年	3	単位数	12	時間数	240			
目標	JLPT N2合格 標											
		内		容								
П	ガイダンス テキスト前期 文字語彙 文法	1. 授業の 1. 授業の 2. デキスト		テキスト後期 文字語彙 文法	1. 3 1 2 3 1 4 1 5 9 1 1 3 1 4 1 5 9 1 1 3 1 4 1 5 1 5 1 1 5 9 1 1 1 5 9 1 1 1 5 9 1 1 1 5 9 1 1 1 5 9 1 1 1 5 9 1 1 1 5 9 1 1 1 5 9 1 1 1 5 9 1 1 1 5 9 1 1 1 5 9 1 1 1 5 9 1 1 1 5 9 1 1 1 5 9 1 1 1 5 9 1 1 1 5 9 1 1 1 5 9 1 1 1 5 9 1 1 1 1	回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回	語	リリリリリ リリリリリリリレルルルル ルルルルル ルルルルルルルルルルルルルル				
		評		価	<u> </u>							
	定期試験及び平常	<b>;点、出席率を加味して総合評価する</b>	00									
		教 		材								
	「日本語能力試験	i N1直前対策ドリル&模試 文字・語	<b>集・</b>	文法」(Jリサーデ	チ出版)							
				担当講師	深澤 自 妹尾 冬		佐久	間宏	 G道			

科目		社会一般	必修	履修学年	1	単位数	4	時間数	80	
目標		后に必要な知識を少しでも早く簡単に で安心に充実した生活ができることを			すること	で,社	会的適	応力:	を養い,	
		内		容						
1	人と知り合いにな る	「 <b>自己紹介をする」</b> かつどう2	6	病気になったら	かつどう1 「 <b>病院を</b> i かつどう2	架す」 !				
2	買い物をする	「引っ越しのあいさつをする」 かつどう1 「スーパーで買い物をする」 かつどう2 「デパートでほしいシャツを買う」 ○これだけ漢字「買い物」	7	安全に暮らす	「病院で ○これだ かつどう 「近くの人 かつどう2 「110番・	け漢字 <b>、に助</b> に <b>と</b> 3	「病院」	う」		
3	電車やバスで出 かける	かつどう1 「 <b>電車で出かける」</b> かつどう2 「バスにのる」 かつどう3 「窓口で切符を買う」 ○これだけ漢字「駅」	8	役所へ行く	かつどう 「 <b>災害の</b> 7 ○これだ かつどう1	4 <b>ために</b> け漢字 <b>主民異</b>	準備す 「天気・ 動届を	に電話する」  準備する」  天気予報」  動届を出す」		
	郵便局や銀行を利用する	かつどう1 「 <b>海外に荷物を送る」</b> かつどう2 「 <b>国内に荷物を送る」</b> ○これだけ漢字「ATM」	9	ごみを出す	〇これだ かつどう1 「 <b>ごみを</b> I かつどう2 「大型ご	け漢字 Eレく出 と みを出	「大切  す」 <b>す</b> 」	な書類		
5	日本語でパソコンに入力する	かつどう1 「ひらがな・カタカナをパソコンに入力 する」	10	日本を楽しむ	○これだ かつどう1 「日本で4 情報を聞 かつどう2 「旅行のり かつどう3 「インターれ ○これだ	「きたい く」 ! 感想を } ヾットで電	ハとこ <i>ろ</i> 言う」 <b>這</b> 車の時	刻を調	৺ঽৢ	
		評		価						
	原則,定期試験の	)成績を総合評価とする。								
		教		材						
	『できる?できた	:!!くらしのにほんご』(公益財団)	法人	兵庫県国際交流協	3会)					
				担当教員	秋山 利新井 高			博基		

科目     進路指導・マナー     ※     履修学年     3     単位数     8     間間数     160												
1. 日本国内の就職・進学の現状を理解し、本学卒業後のより良い進路を確実に決める。 2. 就職・進学に向けた活動を進めるノウハウ、学びながら実践する。 3. 自己表現力を高め、自己を最大限アピールできる履歴書を作成することがきる。 4. 社会人としての心構えと基本的マナーを身につけて船出に臨む。 5. 日本の就職活動を理解する・早くから準備する・あきらめずに続ける。 6. インターンシップ参加の推進。 7. グループワーク・ケーススタディで協同とコミュニケーション力を高める。  内 容												
第1章												
	評	<u> </u>	価									
平常課題点、授業	態度及び出席率を考慮した総合評価と	する。										
	教		材									
外国人留学生	のための就職活動テキスト第2版 (イン	プレス	)				_ <u></u>					
			担当講師	濱野 /	信行	小日	山明	彦				

科目		PC演習 I		必修	履修学年	1	単位数	8	時間数	160		
標	<ol> <li>ローマ字かな力</li> <li>文書ソフトの排</li> <li>表計算ソフトの</li> </ol>	の基本的な操作方法: (力を一定レベルま) 操作方法の習得を通う操作方法の習得を通	で習得する。 し、基本的な文章 通し、基本的なテ	<u> </u>	タ処理・集計ができ	きるようし	こなる			3.		
2.	1. コンピ* エウ基礎       1. 基本的な用語と基本的な操作方法の習得       4. 表計算ソフト演習       1. 表計算機能の基本を習得文書ソフトとの違い。セル操作の基本。											
			評		価							
	課題点及び授業態度を加味して総合評価する。  教 材  留学生のためのかんたんWord (入門) (株) 技術評論社発行 留学生のためのかんたんExcel (入門) (株) 技術評論社発行 担当講師作成プリント (配布後の扱いは各講師判断)											
		. (22 17 22 27	William Haller 147		担当講師	芹川 <u>-</u> 小澤 『		·   斉 高橋「	下藤 居 叶	]		

科目		PC演習Ⅱ	必修	履修学年	2	単位数	8	時間数	160				
目標													
		内		容									
	で書ソフト演習 受計算ソフト演習	1年の復習と応用 1. ファイルの挿入利用 2. 文書の校閲 3. 文書のプロパティ、問題点チェック、保護 4. 図形、画像、SmartArt  1年の復習と応用 1. シート作成、ブック内移動、書式設定、オプション 2. セルのデータ管理 3. テーブル 4. 数式と関数 5. グラフとオブジェクト	3. 糸	総合演習	文書ソフ	5 1	表計算》		トの連携				
		評		価									
	課題点及び授業態	態度を加味して総合評価する。											
		教		材									
	留学生のためのか	いんたんWord(入門) (株)技術評いたんExcel(入門) (株)技術語いたん Excel(入門) (株)技術語の扱いは各講師判断	平論										
				担当講師	深谷 美	<b></b> 長羽	貝沼	智品	ŧ				

科目	画像	処理演習 I (CG)	必修	履修学年	1	単位数	4	時間数	80			
	Photoshopを使用し、 様々なアプリケーション(Illustrator, Indesign, Sketchupなど)と 連動する為の基礎を学習											
		内		容								
	toshop 基本	1. 起動とインターフェイス 2. ファイルの開き方と保存 3. 表示サイズの操作	7		1. レタッ 2. 写真加 3. 合成写	工の	レッスこ	/				
2	選択機能	1. 基本の選択ツール 2. 自動選択ツール 3. 自由な形に選択する 4. 選択範囲の編集										
3	写真の調整	1. 写真の回転 2. 写真のサイズ変更 3. 色の調整										
4	描画機能	1. 色の選択と設定 2. 描画の基本操作 3. 塗りつぶしツール 4. グラデーションツール										
5	レイヤー	<ol> <li>レイヤーの種類</li> <li>レイヤーの作成</li> <li>レイヤーの編集</li> </ol>										
6	修正と合成	1. 修復ブラシ・パッチツール 2. 切り抜きとペースト 3. マスク										
		評		価								
	課題提出作品、制	作作品及び平常点を加味して総合評	価す	-5								
		教		材								
	講師オリジナルラ	テキスト										
				担当講師	小日山	明彦	木幡	義和	<u>———</u>			

	<u> </u>		<del>                                      </del>		1	1 1)/ [		1144	
科目	画像	g処理演習Ⅱ (CG)	必修	履修学年	2	単位数	4	時 間 数	80
目標	2. CADで作成した 3. プレゼンテー	ザインの仕事に即した内容を習得されインテリアや什器データをSketchUrションのためのウォークスルーアニションのためのレンダリング画像のご	っにイン メーシ	ョンの作成		チ			
		内		容					
	etchUp 操作の基本	<ul><li>①画面の初期設定</li><li>②画面移動、画面拡大縮小、</li><li>アングル変更(パン)、ビューボタン</li><li>③各ツールボタン</li></ul>	5 0	AD		ータをSke 図・展開[ 什器図[	図の説	明•理解	
2	モデリングの 基本	<ul><li>①四角形、円、三角形</li><li>②選択、移動</li><li>③コピー</li><li>④プッシュ・プル</li><li>⑤オフセット、尺度、回転</li><li>⑥ペンツール</li></ul>	6 3	DCG-SketchUp	<ul><li>・床、壁 構造の</li><li>・下地、 大まか</li></ul>	モデリンク 、柱、梁 の説明・ 仕上げ な説明 窓など開	が など大 理解 など構り ・理解	まかな 成素材 <i>0</i>	
	ウィンドウ 身近なモノ・	<ul><li>①マテリアル</li><li>②レイヤー</li><li>③シーン</li><li>④影設定</li><li>①デスク</li></ul>			2.アニメー・シーン スルー 3.レンダ!	ーション( を作成) -アニメの	レウォー の作成	-ク	
4	家具などの作成	② 合子 ③棚 ④グラス ⑤筆記用具 など、から3~4個作成	7 2	DCG-Photo		画像のい nUpのパ shopでい	ース画	像を	
		評		価					
	課題提出作品、	制作作品及び平常点を加味して総合	評価す	る					
		<b>数</b>		材					
	講師オリジナル	テキスト							
				担当講師	丸山。	和樹			

科目	画像処理演習Ⅲ (CG)	必修	履修学年	3	単位数	8	時間数	160				
目	1. CADで作成したセカンドハウスデータを基にSketchUpで3Dモデリング 2. 実務に近いCAD→2DCG→3DCGの流れを学習 各ソフトの連動性を習得 3. プレゼンテーション用アニメーションの作成 4. プレゼンテーション用レンダリング画像のPhotoshopを使ったレタッチ											
	内		容									
1	作図-CAD 1. 住宅図面の作成 ①平面図 ②立面図 ③断面図 ※SketchUp用に図面を簡素化、											
2	インポート 3DCG-SketchUp 1. CADデータを元にSketchUpで 3Dモデリング ・外観内観アニメーション の作成 ・シーンを作成しレンダリング ・施工事例をあげながら各 部位の説明											
3	2DCG-Photo 1. パース画像のレタッチ Photoshopでレタッチ											
	評		価									
	課題提出作品、制作作品及び平常点を加味して総合	平価 7	する									
	教		材									
	講師オリジナルテキスト											
			担当講師	丸山 和	樹							

科目	迪	I像処理演習 I	必修	履修学年	1	単位数	8	時間数	160
	Illustratorの基準	本操作法を習得。							
目									
標									
		内		容					
	ustrator 基本	<ol> <li>起動とインターフェイス</li> <li>新規書類の作成</li> <li>基本操作・ワークスペース</li> </ol>		オブジェクトの デザイン	1. パター 2. シンボ 3. グラデ	ル	/ョンメ :	ッシ	<b>1</b>
2	図形ツール	1. 図形描・画線・塗り 2. 破線・グラデーション 3. 多角形と星形 4. らせんと円弧			1. 文字入 2. パスに 1. 課題に	沿っ	た文字		
		1. コピー&ペースト・拡大縮小 2. 回転とリフレクト 3. 選択・ダイレクト選択 4. レイヤーとグループ	0		2. テーマ 3. フォト	に合	かせた作	乍品台	制作
	編集・登録	<ol> <li>効果・パスの変形・ワープ</li> <li>アウトライン</li> <li>ブラシ各種の登録</li> <li>オフセット</li> <li>パスファインダー</li> <li>ブレンドツール</li> <li>整列</li> <li>アピアランス</li> </ol>							
5	ペンツール	1. 直線と曲線 2. ペントレース							
		評		価					
	課題点及び平常点	<ul><li>、出席率を加味して総合評価する。</li></ul>							
		教		材					
	各種教本を参考に	項目に沿ったオリジナル資料をプロ	ジョ	ェクター投影により	) 説明。				
				担当講師	小日山	明彦	木幡	義和	Ī

科目		画像処理演習Ⅱ	必修	履修学年	2	単位数	8	時間数	160
目標	Photoshopの基準 Illustratorとの	本操作法と応用を習得。 の連動。併せて他ファイル形式への変	換な	ど実務に使える基	一礎技能を	学習。			
		内		容					
1	toshop 基本	<ol> <li>カラーモード</li> <li>サイズと画像解像度</li> <li>ツール・パレット</li> </ol>	6	アニメーション	1. GIFア: 2. シネマ フレーム ビデオレ	・グラフ 、アニフ	ペーシ	ョン	
2	画像選択と 修復	<ol> <li>1. 各選択ツール</li> <li>2. 選択範囲の抽出と反転</li> <li>3. 各修復ツール</li> <li>4. 非破壊修復</li> <li>5. ベクトルマスク</li> <li>6. 色域指定</li> <li>7. モノクロ・カラー</li> </ol>		ustrator 基礎と応用1	1. パス・ 2. グラデ 3. 効果 4. 書ゴ作 6. クリッ				
3	画像補正	<ol> <li>色調補正</li> <li>レベル補正</li> <li>カラーバランス</li> </ol>			7. 自由変 8. トレー 9. スレッ	ぎ形・コ ・ス	ニンベ	ロー	
4	画像加工	<ol> <li>トリミング</li> <li>サイズ・解像度変更</li> <li>フィルタメニュー</li> <li>乗算・オーバーレイ</li> </ol>	2	基礎と応用2	1. グラフ 2. パター 3. 色の再 4. フリー 5. トリム	·ン作成 配色 ·グララ	え ニーシ	ョン	
5	画像合成	1. 選択と配置 2. レイヤー操作 3. 透明度設定 4. 消しゴムとマスク 5. フィルター	3	課題と練習	6. 遠近グ 1. 課題に 2. テーマ 3. フォト	゛リット こよる ・に合わ	、	な技術 作品	術習得 制作
		評		価					
	課題点及び平常	点、出席率を加味して総合評価する。							
		教		材					
	各種教本を参考	に項目に沿ったオリジナル資料をプロ	コジュ	- クター投影により	り説明。				
				担当講師	小目山	明彦	木帧	番義	—————————————————————————————————————

科目	臣	画像処理演習Ⅲ	必修	履修学年	3	単位数	4	時間数	80	
日	1. 画像処理 I ・ II で学んだ、Photoshop・Illustratorの基本操作法を基に、 演習課題に取り組み、作品として仕上げる 2. Photoshop・Illustratorとの連動による、課題を兼ねた外部デザインコンペ参加 3. ポートフォリオを作成し、各自の就活に利用する									
		内		容						
1	課題I	ポートフォリオの作成 1.InDesginで作成 2.表紙の作成 3.PDF、画像をレイアウト 4.タイトル・文字など記入 5.都度都度、作品を挿入 6.全体をPDF変換し就活に活用								
2	課題Ⅱ	外部デザインコンペ 1.学生向けの外部デザインコンペ を課題利用 2.例:Tシャツ、トートバッグ デザイン、ポスターデザインなど 3.留学生でもイメージしやすい コンペを検討								
3	課題Ⅲ	CAD課題のプレゼンデータ化 1.作成したCAD課題をPDF変更 2.PDFを着色、アートボードの レイアウト								
		評		価						
	課題点及び平常点にて総合評価する。									
		教		材						
	講師オリジナルフ	プリント								
				担当講師	丸山 和	樹				

科目		CAD演習 I	必修	履修学年	1	単位数	8	時間数	160
目標	実際にオペレー	トを利用して、CADの初歩的な操作だタ試験問題を解きながら、各コマンものづくり全体の流れと図面の関係	/ドの	)使い方を学習する	3.				
		内		容					
3	LT ドリルブック LT 1 LT 2 LT 3 LT 4 LT 5 LT 6 LT 7 LT 8 LT 9 LT 10 オペレータ試験問題集 0-スナップ	基礎演習 AutoCADとは(要素) AutoCAD基本操作練習 キーボードやマウス操作法 UndoとRedoとは 画面のコントロール 画層とレイヤ ファイルの読み込みと保存 AutoCADの座標とは AutoCADの画面構成 基本コマンドの実行方法 基本コマンドの実行練習 テンプレートとは 1-348問 線分-0スナップ 垂線・平行 角度、長さ、中心点、交点 平行複写		複回ト延ミス配フ面文オハ文 寸寸ブ印そ試写転リ長ラト列ィ取字ブッ字 法法ロ刷の験写転リ長ラト列ィ取字ブッ字 法法ロ刷の験鏡・ ト ②クグ① ク 題の の	デーショ デーショ 画 画 ト	十 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	面積計 要	ニキス	
		評	<u> </u>	価					
	定期試験および課	!題など考慮した総合評価とする。							
		教		材					
	教科書 AutoCADトレー:	ニングテキスト(AutoCADオペレー)	夕試懸	¢問題集)AutoCAD	) LT ドリ	ルブ	ック課	題	
				扣业≇站	芦谷 七楓 櫻井 春希			三本 太陽 沼 智史	場 矢澤 稔

担当講師

 月日 1 元
 元
 元
 人 支
 二
 本 人 版
 大澤 稔
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 表 意
 <td

科目		CAD演習Ⅱ	必修	履修学年	2	単位数	12	時間数	240		
目標	各担当教員用意した問題を解きながら、各コマンドの使い方を練習する。  [5]										
		内		容							
	図面理解① 機械基礎 (なぜその形状か)	製図法の理解 どういう用途に使われるのか理解 表面処理 加工 公差 JIS規格	5		2. 機械要 寸法と 寸法 寸注	習 機 要素の : 文字	機械部品全 )作図(応 この記入 値の精度 正	般			
2	形状理解	三面図の形状理解 図の配置 2D図面の⇒3DCADまたはアイソメ 3D図面の⇒2DCAD	6	建築図面①	建築製図( 設計概 図面の和	(壁式 要 種類			断面)		
3	実践学習	実際の業務に近い内容を実践する 実務で用いる簡略法 2D図面改定			断面図	作図	☑ (S=1/100 ☑ (S=1/100	))			
	製図の知識 建築基礎	ものづくり全体の流れについて 図面を描く順序・目的の理解									
		評		価							
	定期試験および課	果題など考慮した総合評価とする。									
		教		材							
	教科書 各担当教員 <i>の</i>	)書籍等。									
				担当講師	戸室 雅章 渡辺 隆2 斉藤 周	行	白岩 秀基 佐久間 笼	<u>·</u> Z道	二松 翼		

科目		CAD演習Ⅲ	必修	履修学年	3	単位数	8	時間数	160
目標		entorのソフトを利用し、いろいろな種 を図る。建築CADや機械設計図面の理角			乍図				
		内		容					
2	図面理解② 図面改定 実践学習② 製図の知識②	製図法の理解 材料の大分類 JIS規格 表面処理 JIS規格 表面処理 JIS規格 公差 実際の業務に近い内容を実践する 2D図面への記号表し方 実際の業務者のの記号表し方 実際の業務者のの記号を実践する 設計者の関連 生地を活かず設計法 図面で用いる簡略法 ものづく図構成 図面の関係 図面の目的		機械図面② AutoCAD Autodesk Inventor 建築図面② AutoCAD	機械: 建設区平衡立建設区平衡	歯車和 ネジ和 要素の作	RA 重類 図械作 RC 頁図図図木 頁図図図木 ののののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ボトレー ・ 図 ・ 図 ・ 図 ・ (100) ・ (100) ・ (100) ・ (100)	断面)
-		評		価					
	定期試験および	課題など考慮した総合評価とする。							
		教		材					
	教科書 各担当教員	の書籍等。							
				担当講師	戸室	圣 雅彰			